

昭和56年10月15日に発行した「相馬農協広報 第27号」から始まった田沢勝衛さんの川柳コーナー。読者の皆様には毎回好評を頂き、川柳コーナーへと定着しました。

そして、約39年間の連載を今月の川柳において終了する事となりました。

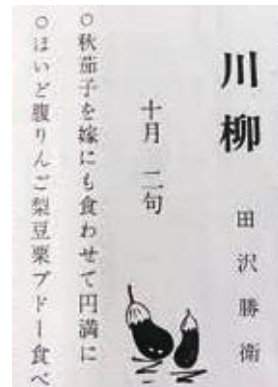
田沢さんは現在95歳という年齢でありながら、毎月そんな年齢を感じさせないような力強い字で原稿を頂き、元気をもらってました。本所内にも田沢さんが25歳の時に書いた歌が飾られており、職員はその歌を見て業務に励んでいます。

最終掲載号となった今回は今年開催予定であったオリンピックの歌と、様々な場所で歌い喜ばれている「お岩木やま」の歌、そして川柳を掲載しましたので是非ご講読頂けたらと思います。

永きにわたり連載して頂き有難うございました。今後のご活躍も期待しております。



田沢さんの記念誌を手に記念撮影



広報掲載第一回目の川柳

～39年の連載に幕を閉じる～

東京オリンピックの歌 (つがる 小原節)

待ちに待った東京オリンピック
 令和三年に二度目のチャンス
 熱いおもてなし笑顔で迎え
 日本の良さを世界に示そうよ
 大和心で鍛えに鍛えた技で
 多くの障害乗り越えて
 晴水の舞台でベストを盡し
 めてたく勝ちとり感動ありがとう
 國をあげてのスポーツ文化の祭
 正義の心で正々堂々闘い
 首には金銀輝かせ
 東京の空に日の丸高々と
 世界の平和
 小原東京オリンピック
 パラリンピック

令和二年二月二日 丑所 田沢勝衛 九十五才

お岩木山

(三山ひろし 著)

一山よく お岩木山よ

白無垢姿の気高さに

お水の神様と正月参り

どなたも手厚くお守りなされる

二山よく お岩木山よ

春は似合の白帽子かぶり

満開の空にほっかり浮ぶ

お山の姿は日本一よ

三山よく お岩木山よ

うだるような夏の暑さには

涼しい水と風をまとえ

心は情けの親まさり

四山よく お岩木山よ

秋には第の衣をまとい

きれいだくと称えられ

お山に供えて感謝する

令和二年二月二日 五所 田沢務衛 九十五才

感謝感涙川柳

四月発表多くの美男美女

初々しい輝く笑顔

おめでとうございませう

和と力と情熱・團結で

絶対にコロナに打ち勝ち

益々発展するJA相馬村

時には笑い悲しみ励げまし
助け合い色々楽しい人生勉強
五十年に感謝の涙止まらず